

平成30年度 予算

「新しい米百俵」によるまちづくり 次の100年に向けて 力強く踏み出す

平成30年度の当初予算が決まりました。予算の骨格をお知らせします。

圖財政課 39・2209



平成30年度は、AI（人工知能）技術の発達など大きな時代の変化と人口減少・少子高齢化が進む中、長岡開府から400年の節目を迎えます。

「米百俵の精神」が息づく長岡として、次の100年を創り出す人材と産業を育成するための未来への投資を積極的にしていきます。そして、市民の暮らしの安心と活力あるまちの実現に向けて力強く踏み出します。

最重要施策として、長岡版イノベーションの推進、産業振興と働く場の創出、人材育成と教育環境の整備、そして将来に向けた都市インフラの整備に

より、「新しい米百俵」によるまちづくりを進めます。

また、子育て環境のさらなる充実や健康・福祉・共生社会のきめ細かな推進に取り組みます。防災・災害対策、中山間地域と支所地域の生活の安心確保、身近な住環境の整備と地域経済の下支えにより、誰もが安心して暮らせるまちづくりを目指します。

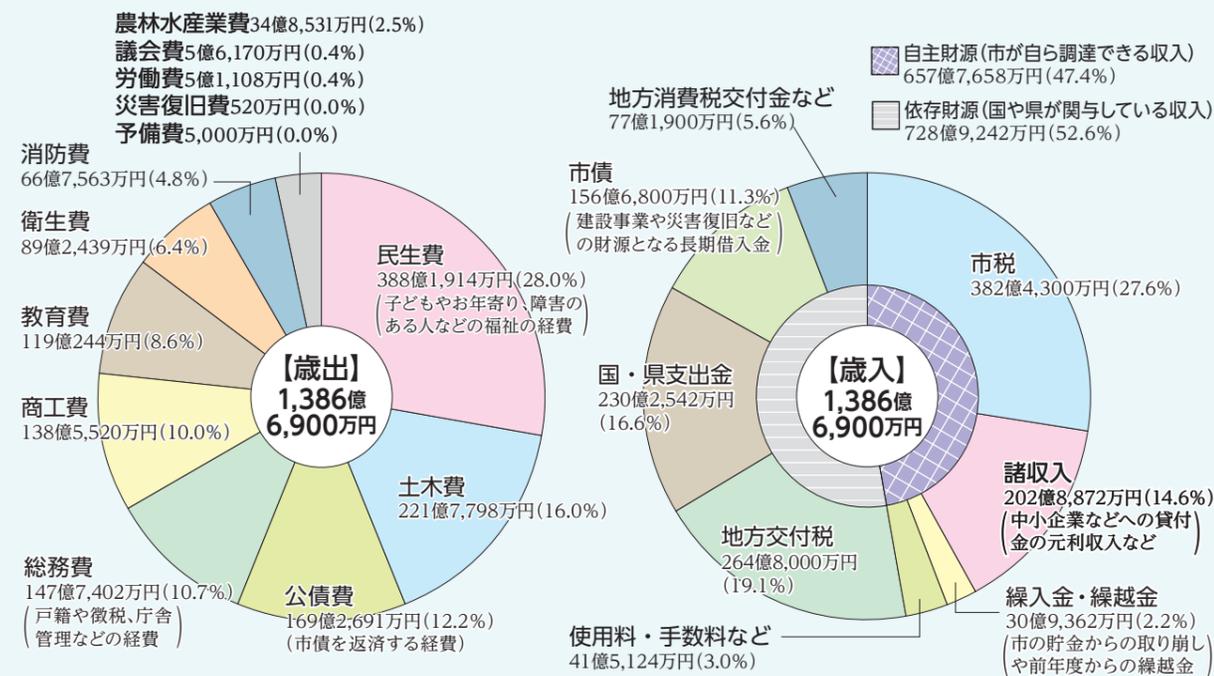
そして、若者の活躍と市民活動の応援、地域の活力創造、スポーツによるまちづくりを推進。さらに、シティプロモーションを戦略的に展開し、長岡の魅力発信と交流機会の拡大、交流基盤の整備に取り組みます。

社会が大きく変化する今、イノベーションで時代を切り開き、次の100年に向けた架け橋を築いていきましょう。

重点施策は4〜9ページ

予算の状況

一般会計は1,386億6,900万円 (前年度比5.1%減)



今年度のポイント

- 新しい米百俵〜人材育成と未来への投資** ↓4・5ページ
 - 全庁的なイノベーションを進めるため、推進本部を設置
 - 3大学1高専との連携による「人づくり・産業振興」(Naa Dec構想)を推進
 - 大手通坂之上町地区の再開発で建設する「米百俵プレイス(仮称)」に「人づくり・学び・交流エリア」を整備
 - 子ども・若者・大人向けにプログラミング教育を実施
 - 長岡北スマート流通産業団地の整備と分譲促進
 - 大積スマートC(仮称)の整備に向けた調査・検討
 - 「ながおか花火館(仮称)」や摂田屋地区情報発信拠点の整備
 - 開府400年記念事業の開催
- 誰もが安心して暮らせるまちづくり** ↓6・7ページ
 - 子育て環境の充実
 - 子どもの貧困対策に専門職員を配置し強化
 - 自殺対策の強化
 - 障害者の就労を促進
 - 地域に寄り添い活動する集落支援員を増員
 - 生活に密着した地域インフラの整備や浸水被害対策を推進
- がんばる市民と地域の支援** ↓8ページ
 - 寺泊地域と栃尾地域にコミュニティセンターを開設
 - 若者の活躍と市民の活動を応援
 - 地域おこし協力隊員の増員
 - オーストラリア競泳チームの合宿受け入れと市民交流を推進
- 長岡の魅力発信と交流人口の拡大** ↓9ページ
 - 「発酵・醸造のまち長岡」などの地域資源を効果的にPR
 - 観光通訳ガイドの育成などで、インバウンド観光を推進
 - 古志高原スキー場に夏季のにぎわいづくりの場を整備

企業会計	292億6,400万円
市が企業として経営し支出は収益で賄います。	
下水道	191億5,470万円
水道	101億930万円
一般会計+特別会計+企業会計=	
総額	2,225億7,630万円

*一般会計において、国の補正予算に伴い、当初予算議決後に学校施設整備予算の一部を平成29年度に前倒しました。

特別会計	546億4,330万円
特定の収入(保険料や使用料など)で支出を賄います。	
国民健康保険	232億340万円
国保寺泊診療所	9,110万円
後期高齢者医療	27億3,550万円
介護保険	276億円
診療所(小国・山古志)	3億4,620万円
と畜場	8,820万円
浄化槽整備	5,450万円
簡易水道	5億2,440万円

予算書は、アオーレ長岡情報ラウンジ、各支所の情報閲覧コーナーなどでご覧いただけます